

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

施策コード	541	施策名	経営資源を戦略的に配分
将来像	5	都市格が高いまち(「しくみづくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	54	経営資源を戦略的に配分	
主担当部	経営政策部	主担当課	シティプロモーション課

2. 施策の方向

10年後の姿	長期的視野から行政経営が行われることで、清瀬の地域全体の魅力が高まり、人々は清瀬に住んでみたい、住み続けたいと思っています。		
施策の方向性	1	市民ニーズに合った行政サービスを提供します	
	2	ユニバーサルデザインを推進します	
	3	シティプロモーションを推進します	
	4	長期総合計画を適切に進行管理します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
広聴事業	1	シティプロモーション課	335
シティプロモーション推進事業	3	シティプロモーション課	2,908
計画行財政推進事業	4	未来創造課	728
特別展事業	3	シティプロモーション課	6,069
文化財保全事業	3	シティプロモーション課	650
都市計画推進事業	2	都市計画課 道路交通課	12,034
総事業費(施策の合計)			22,724

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	市政への市民満足度		目標値	50.0	50.0	70.0	70.0	70.0
	説明	—	単位 %	実績値	39.9 (※)	39.9 (※)	/		
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	79.8%	79.8%			
②	名称	清瀬への愛着度		目標値	70.0	70.0	80.0	80.0	80.0
	説明	—	単位 %	実績値	58.8 (※)	58.8 (※)	/		
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	84.0%	84.0%			
③	名称	清瀬市に住み続けたいと思う人の割合		目標値	70.0	70.0	80.0	80.0	80.0
	説明	—	単位 %	実績値	67.8 (※)	67.8 (※)	/		
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	96.9%	96.9%			

※①②③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●シティプロモーションの取り組みでは、SNSの活用や積極的なプレスリリースのほか、記者会見を定期的開催して市内外に情報発信する取り組みを強化した。 ●平成28年度より導入した施策評価による行政評価制度は7年間が経過し、9月の決算前に業務の総点検ができること、部長職で構成される評価委員会で組織幹部による行政課題の共有ができること、市の最上位計画である長期総合計画と日常業務の紐づけができること等の成果が得られた。また、令和4年度には新たに民間委託の可否について検討を行った。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの 変更点	特になし
-----------------	------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題 都市間競争が激しいなか、市の魅力発信等の必要性が高まっており、組織的な対応が求められている。また、シティプロモーションに関する職員の意識をさらに高める必要がある。
	課題に対する 令和6年度以 降の取組 SNSの活用や企業との連携など、市内外への情報発信の強化を図る。また、組織横断的にシティプロモーションの機運を醸成し、職員一人ひとりのPR力向上を図る。
②	施策を進める 上での課題 市内にある有形・無形の文化財について、まだ文化財として指定や登録されていないものを含め、市としてどのように保存・活用していくのか検討する必要がある。
	課題に対する 令和6年度以 降の取組 清瀬市文化財保存活用計画の策定に向けた基礎調査を実施する。